

神奈川県精神神経科診療所協会  
2025 年9月役員会議事録

日 時 : 2025 年9月18日(木) 19時30分より

開催場所: ホテルプラム

出席者 : 赤塚英則、萩元浩、鐺木宏、三木和平、内門大丈、三村圭美、長谷川洋、赤坂ちづ子、  
上村誠、川名明德、川原健資、佐藤嗣有子、根岸夏己、加藤大慈、瀬尾裕香、  
山田芳輝(敬称略、順不同)

会の冒頭、うしおだ診療所、野末浩之先生より、医療機関が突然閉鎖されて地域住民の医療に困難が生じないように国による財政支援が必要であると考えており、そのための請願署名活動を神奈川県民主医療機関連合会として開始しており、ご協力をいただきたい旨のご説明をいただく。

I. 会長挨拶

先週は第2回日本外来精神医学会が開催されました。来年の6月に横浜で開催です。あと9ヶ月にせまっております。多くの役員の先生方に実行委員になっていただきまして、どうぞよろしくお願いいたします。

II. 議案

1. 入退会

日精診賛助会員 B 青山恭子先生(菊名記念病院)入会(神精診には入会済)

2. 報告事項

(ア) 日精診

第2回日本外来精神医学会、9月13日、14日に神戸で開催、12のシンポジウム、11のセミナー、4つの特別講演を開催、約350名の参加をいただきました。

(イ) 神奈川県職員メンタルヘルス相談

25件、18の医療機関が協力していただいている。

(ウ) ホームページ、空床情報

問題なし、活用をお願いしたい。

(エ) PST 株式会社臨床研究

追加の症例依頼あり。今後は1症例1データ、新たな医療機関との契約では神精診事務局に5万円、医療機関に1万円、おおむね一医療機関あたり20症例をお願いしたい。交渉はPST株式会社と参加候補医療機関で個別に行っていただくことに。

(オ) レセプト請求

オレキシン受容体に作用する薬剤とCYP3A4阻害薬剤の併用での査定に注意。  
薬剤使用の際に適応傷病名の記載もれに注意。

(カ) 県医師会役員の交代による懇親会

9月7日に開催。赤塚英則会長が出席。

(キ)川崎市措置入院制度運用等に関する懇談会委員

長谷川洋副会長が継続して出席。

(ク)神精協との会長・副会長による懇談会

9月9日に開催。神精協の副会長が武田龍太郎先生(武田病院)、坂井喜郎先生(秦野厚生病院)となった。また神精協の前副会長、大野史郎先生(平塚病院)が瑞宝小綬章され、10月31日に祝賀会が開催。赤塚英則会長が出席予定。

### 3. 協議事項

(ア)講演会・研究会

9月2日 32名参加

Web配信 共催 共和薬品工業株式会社

「双極症の病態と治療」

加藤 忠史 先生(順天堂大学医学部精神医学講座 主任教授)

10月2日

ホテルプラム 共催 ヴィアトリス製薬

「高齢者の不安と抑うつ」

浅見 剛 先生(横浜市立大学医学部精神医学 主任教授)

(イ)研究会日程

第5回老年精神医学研究会

10月14日

会場 ホテルプラム

「抗アミロイドβ抗体製剤1年6ヶ月間の投与が終了した患者の現状と継続投与の

可否について」 福武 滋 先生(平塚市民病院 脳神経内科)

「抗Aβ抗体治療に関する意思決定をどのように支えたらいいのだろう」

繁田 雅弘 先生(栄樹庵診療所)

第18回産業メンタルヘルス研究会

10月25日

会場 ビジョンセンター横浜

「最近の復職を考える～産業医の立場、主治医の立場～」

江花 昭一 先生(のぞみクリニック)

「最近の産業保健トピックス～両立支援マニュアルをめぐって～」

高野 知樹 先生(神田東クリニック)

(ウ)60周年記念式典、60周年記念誌

60周年記念式典、現時点で78名の参加。

17時30分から記念式典

18時から記念講演会

湯川れい子先生

「音楽がつなぐこころの時代～音楽で心も身体も元気になる～」

19時15分から祝賀会

21 時 30 分閉会予定

記念誌広告掲載は 50 周年の時より少なくなっている。

60 周年記念誌、60 周年式典の写真も掲載するため発行は 12 月頃とする。

(エ)第 3 回日本外来精神医学会

メインテーマ:「かかりつけ医」として何ができるか？

～外来精神医療のこれからを考える～」

10 月 17 日(金)18 時より Zoom で実行委員会を開催予定。

(オ)今後の役員会日程: 次回は 10 月 16 日(木)19 時 30 分

12 月は忘年会を兼ねて役員会・例会・講演会を開催。

第 3 木曜ではなく 12 月 13 日(土)で調整をおこなっていく。

議事録署名人

赤塚 英則

鎚木 宏

萩元 浩